



病院等医療機関、  
介護老人保健施設および社会福祉施設

### OB・OG紹介 — 卒業生の現在 —



#### 瀬賀結華さん

社会福祉法人阿賀北福祉会  
障害者支援施設やまやの里 管理栄養士  
新潟県立村上高等学校卒業→新潟医療福祉大学  
健康科学部健康栄養学科卒業→社会福祉法人阿  
賀北福祉会障害者支援施設やまやの里 管理栄  
養士

#### 現在のお仕事について教えてください

障害者支援施設で利用者さんの栄養管理や献立作成、また事務の仕事をしています。栄養管理では、支援員、看護師など多職種と連携をして一人ひとりに合った栄養ケア計画の作成や、食事の提供を行っています。献立作成では旬の食材を取り入れたり、利用者さんから献立の希望を聞いて献立作成し、給食の時間を楽しみに思ってもらえるように工夫しています。利用者さんの栄養管理では、支援員や看護師など多職種で連携を取りながら一人ひとりに合った栄養ケア計画の作成を行っています。中には食事に強いこだわりを持った方や、偏食を持った方もいるので、支援員との情報交換は欠かせません。献立作成では、旬の食材を取り入れたり、利用者さんに希望を聞いて、食事の時間が楽しみになるように工夫しています。

#### ご自身のお仕事への思いについて教えてください

利用者さんの中には、食事に強いこだわりを持った方もいるので、栄養管理や食事提供が難しいこともあります。はじめてのことばかりで、わからないこともたくさんありますが、周りの方に助けをもらいながら働いています。障害のことや障害者の方に対する栄養管理、食事提供について知識を増やし、一人ひとりに合ったサービスの提供をしていきたいと思っています。

## 高校生の頃、どんなことを考えて過ごしていましたか？

高校生のときは部活動に力を入れていたので、進学のことについては「県内の大学に進学する」ということだけしか考えていませんでした。ただ、県内でも就職率と国家試験合格率の高い新潟医療福祉大学には興味を持っていました。

## 管理栄養士になった理由はなんですか？

高校時代に母が病気で入院したことが目指すきっかけになりました。もともと料理をすること、食べることが好きでしたが、母が入院してから家の食事を作ったり、入院中の母の病院での食事の話を聞いているうちに栄養について興味を持つようになり、管理栄養士を目指しました。

## 「新潟医療福祉大学でよかった」と思うことはなんですか？

新潟医療福祉大学では医療や福祉の現場に必要な連携を在学中から学ぶことができます。他学科との連携ゼミでは、各専門分野の学生と関わることができるので、就職しても多職種と連携の欠かせない医療・福祉の現場ではとても助かっています。また、健康栄養学科は設備の整った環境で実習を行うことができるので、充実して学ぶことができます。臨時実習も多く様々な実習先に行くことで、自分のやりたいことを見つけることができたのでとてもよかったです。

## 臨地実習ではどこに行きましたか？

臨床栄養学実習として県内の介護老人保健施設と併設された病院、給食経営管理実習で県内企業の社員食堂、公衆栄養学実習で県内の地域復興局、介護栄養学実習で県内の障害者支援施設に行きました。

## 最も印象に残っている臨地実習先はどこでしたか？

障害者支援施設での実習が印象に残っています。施設での実習中は、食事提供や栄養管理について学ぶことはもちろんですが、利用者さんとのレクリエーションの場や交流の場を多く設けていただいたので、接し方や関わり方も学ぶことができました。また、施設での献立作成の注意や工夫、栄養ポップの作成の仕方も教えていただいたので利用者さんに分かりやすい資料の作り方も学ぶことができました。

## その実習先での活動は現在のお仕事につながっていますか？

障害者支援施設に実習に行って、障害者支援施設に就職したいと思ったのでとてもつながっています。施設での実習で利用者さんとの接し方などを学ぶことができたので、今の職場でも利用者さんとの会話の仕方や接し方でとても助かっています。私の職場は、思っていたよりも利用者さんと栄養士の接する場が多いので、実習中に利用者さんと積極的にコミュニケーションをとってよかったですと感じています。



新潟医療福祉大学  健康栄養学科

〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地 入試事務室 TEL:025-257-4459 URL: <https://www.nuhw.ac.jp/>

